

芙蓉会会報

第29号

編集・発行人

学校法人 横浜清風学園 芙蓉会

〒240-0023

横浜市保土ヶ谷区岩井町447番地

TEL: 045-731-4361(代)

FAX: 045-716-0202

http://www.y-seifu.ac.jp/

印刷所 合資会社 横浜大気堂

横浜市中区真砂町4-40

TEL: 045-641-4161

FAX: 045-681-0957

新制になった横浜清風高校

芙蓉会会長 石渡 富美子



の御嶽山や箱根や浅間山）は身近な所で起きています。何時か大きな災害に巻き込まれる事があるかもしれません。その為にも大切な時間をどう過ごすか試行錯誤しております。

皆さんお元気でお過ごしでしょうか。私は年を重ねてきたせいか毎日が平凡に過ぎていけばそれで良いと思っていましたが、これでは時間を無駄にしているのではないかと気付きました。最近の地震や噴火（昨年九月

さて新校舎完成と新理事長、新校長のお二人により、新しい風が吹き込んできたと感じました。本年度は更に進学実績を向上させる為に一年次より選抜進学クラス（四年制大学や国立大学など）を新設し、横浜清風高

芙蓉会のおもてなし

校長 齋藤 一



合のいい秋の形容ではなく、これは私の家族がお世話になった芙蓉会の行事のコピーです。

禾乃登る季節、私たちの主食であるお米、今や十六穀米等々と私たちを支える穀物の多くの穂が頭を垂れる稔りの秋を迎えました。会員各位のご健勝をお慶び申し上げます。食欲の秋、芸術の秋、行楽の秋と自分の都

ずつと芙蓉会にお世話になり、愚息が乳飲み子であった遙か昔、家内が芙蓉会会員の方にお誘いを受けて、岐阜の長良川鶴飼いに出かけたこともありました。お子様連れの会員の方も参加され、行程のみではなく諸先輩方からの育児教育を受け、充実した旅行をしてきた報告を懐

校のランクアップを図っています。先生方も補習授業を行ない苦手科目を克服させ、生徒一人ひとりの個性を大切にし、楽しい学園生活が送れるように配慮されているようです。

地域の方々からも礼儀正しく明るく元気な生徒さんだと評価を戴いているそうです。少子化に向っている今、今年の新入生も募集定員より多くの生徒を迎えられました。良かったと思います。

卒業生の皆さん、明るく楽しい学校、先生方や生徒に会いに来ませんか？お待ちしております。

かしく思い出したりしています。私自身が参加させていたいたのは、食欲と芸術の両方を愉しめる日帰り旅行でした。サンシャイン内にあったプリンスホテルでのバイキング、その後の観劇。東京エキセントリックシアターの公演、三宅裕司氏と小倉久寛氏の抱腹絶倒の舞台と、帰路のバス内で空腹になっていた私のところに、次々回ってくるおやつに芙蓉会のおもてなしを受けた記憶が鮮明に残っています。

芙蓉会恒例の行事にたくさんの方の参加を頂き、益々の盛会となるよう願っております。

平成二十七年 同窓会幹事総会報告

二十七年六月二十日（土）
於：横浜清風高等学校

各クラスより代表選出の幹事による幹事総会を本校大会議室にて開催しました。次の通りご報告致します。

式次第

一：開会の辞

二：挨拶 会長 石渡富美子
三：議長選出 校長 齋藤 一

三：議長選出

四：議事 (1) 二十六年活動報告
(2) 二十六年会計報告
(3) 二十七年活動計画
(4) 二十七年会計予算

(5) 役員改選
(6) その他

五：閉会の辞

六：その他

同窓会新役員

会長	石渡 富美子
副会長	高橋 静子
会計	荒海 由美子
書記	吉田 千春
幹事長	安田 節子
	佐野 ヒサエ



高野山、開創一二〇〇年の想いをはせて

一二〇〇年前、空海が開いた真言宗。その聖地である高野山へ青葉眩しい新緑の五月末、新入生が研修旅行へ向かった。世界遺産でもあり、記念すべき年であることから、記念行事期間中、奥の院へ向かう参道はまるで「原宿竹下通り」のようであったと宿坊の僧侶が話しをしてくれました。

到着日の夕飯は精進料理。経験したことのない座敷での正座、そしてお膳の食事となると、いつも賑やかな生徒達の口数も少ない。食前の言葉「一粒の米にも…」をお唱えしていただき食事。おいしく残さずいただきました。「…報恩の道へいそしまんごちそうさまでした」

翌日は早朝から奥の院へ。肌寒い静寂の中、眠い目をこすり



ながらの参拝でしたが、ガイドさんの説明に耳を傾け、御廟前ではしっかりとした声で般若心経をお唱えしました。他に、大師教会本堂での写経と壇上伽藍・金剛峯寺・霊宝館の見学、午後からは各班での自主見学で終了。最終日は宿坊での朝のお勤めと下座行（宿坊のお掃除）をしてから下山。途中、京都での昼食は笑みがこぼれ日常の生活に戻っていました。

高野山での思い出は？と生徒に尋ねると、一同に口を揃えて「正座の辛さ」との返事。写経時に一時間、朝の勤行で一時間、毎回の食事でも三〇分と正座をしない日はありません。これが生徒にとっての高野山であったようです。しかしその辛さを経験して、辛抱することの大切さ、やり遂げた後の達成感や喜びなど、普段短期間で得る事のできないものをこの高野山・お大師様から頂いたような気がします。

同窓生にとつての高野山は、過ぎ去った高校時代の思い出の一つ。次のクラス会では懐かしい友と語り合うのはいかがでしょう。きつといつまでもお大師様は見守ってくれているはずだから。

(N・H)

卒業生 母校で活躍



政野屋 陽太 (二十一年度卒業)



今年度から非常勤講師で、社会科の教員として勤めています。私は、平成二十一年度に横浜清風高等学校を卒業いたしました。今振り返れば三年間の高校生活は、バスケットボール部と勉強の毎日で忙しいながらも充実した、楽しい学生生活であったと思います。そんな母校に今年度からは教員として戻って来られたことを心から嬉しく思っています。教員として、

大石 茜 (二十二年度卒業)



保健体育の教員になりたいという思いが中学生の頃からありました。横浜清風高校を卒業する際に「母校で教員をやりたい」という具体的な目標ができ、そのきっかけは、在学時代ソフトボール部で技術指導や物事の考え方を指導していただいた手塚先生の影響がとても大きかったです。そしてご支援してくださった諸先生方の温かさは卒業しても感じることが

母から子へ、時を超えて

◆昭和六十年三月卒業

後藤 幸子 (旧姓・間宮)

母校での一番の思い出は、「三十針の勲章」です。二年生になる春休み、ハンドボール部の強化合宿中、左膝靱帯を断絶。手術と長期入院。勉強が二ヶ月遅れて、必死に取り戻した記憶が蘇ります。月日が経ち、娘が母校に入学し、何より安心出来たのは、私の担任だった原田奈緒美先生を始め、勉強を教えてくださいました先生方が、横浜清風高校を中心で支えてくださっているからです。娘は三年生、進路を決める時期になりました。最大限の力を発揮し、悔いのない学校生活を送って欲しいと願っています。

◆平成八年三月卒業

植田 直子

早いもので高校を卒業して、十九年が経とうとしている。この春に、長男が入学しました。私が学生の頃は、女子校で二つの学年から制服が変わり、円形校舎で、教室は扇形でした。今では、新校舎で男女共学となり変化していることも多いですが、昔も今も変わらず横浜清風の特徴でもある勤行や仏教の授業、学校の教育目標の一つでもある「智慧」正しく物事を認識し、判断力を身に付けさせたいと思い、母校を勧めました。また、卒業し、母校を誇りに思ってくれると幸いです。

お世話になった先生方（退職者）

感謝

事務長 草場善規



皆様こんにちは。私もついに定年を迎えました。初任の時の高三の方々はそろそろ還暦を迎えられる年になりますから当然のことですね。その間、「明倫」から「清風」、女子校から共学校、円形校舎から新校舎へと学校改革に携わって大変でしたが、ここ数年受験生が増加したことで忘れさせてくれました。皆様との思い出も沢山あります。富士登山・海の家・水泳教室・キャンプ・スキー教室……等。

皆様からもらった活力のお陰で四十一年間大過なく勤めることができたことを感謝します。また、仕事を通じて、多くの人達に接することができたことも私の宝となりました。学園はこれからもますます発展すると思いますので、皆様と一緒に応援していきたいと思います。ありがとうございました。

堤 れい子(教諭…理科)
吉光 樹(常勤講師…国語)
赤坂 有紀(常勤講師…社会)
古山 智基(常勤講師…理科)

月日に

関守なし

社会科 佐野宏通



様々な紆余曲折を経て、三月で明倫から清風にかけての約四十年に一区切りをつける事になりました。言い古された事ですが、月日の流れるのは早いもので、今から思えばほんの一瞬の様に思えます。

明倫に着任し、最初の授業で教室に入った時、当たり前の事です。が女子生徒ばかりの迫力に圧倒され、正直な所、果たしてここでやっていけるのかと言う不安が頭をよぎった事を今でも鮮明に覚えています。

それから約四十年、数えきれぬほどの沢山の思い出と経験を生徒の皆さんや同僚の職員の方々から頂きました。専任としては一区切りです。若い頃ほどのエネルギーは有りませんが、講師として清風の発展に少しでも役に立てればと思っております。

齋藤 良平(非常勤講師…数学)
佐々木 彩(非常勤講師…体育)
東条 秀和(非常勤講師…英語)
信太 恵(非常勤講師…社会)

私の宝物

英語科 菅原尚子



明倫から清風の大きな変化の中で、毎年出会う生徒との日々の積み重ねで、気がついたら定年を迎える年になりました。担任や授業と一緒に過ごした個性豊かな皆さんとの様々な思い出は、私の大きな宝物です。長い間、ありがとうございました。

若い人たちと一緒にまだ勉強したいと考えて、現在も時間講師の立場で通勤し、四月の新しい出会いに心躍らせ過ぎていきます。手芸部の生徒たちとも、文化祭準備の活動中です。

同世代が引退の時期を迎えた近頃、旧友の新しい活躍を耳にしては、自分も心機一転で色々挑戦したい気持ちに駆られます。そんな若き時代の友は、私の一生の宝物です。今若い皆様にも、長年の友人を大切にしていっていただけたらと、お勧めします。

苅谷 麻子(非常勤講師…理科)
羽深 寛芳(非常勤講師…英語)
ダニエル・コートニー(非常勤講師…英語)

親睦バス旅行



芙蓉会会員の皆様こんにちは。今年の芙蓉会のバス旅行を担当いたします吉田です。例年ご好評をいただいております芙蓉会親睦旅行も 37 年目を迎え、皆様のご支援により、益々活気付いてまいりました。今年も思い出のひとつとして、埼玉の晩秋、平林寺の紅葉と蔵の街川越をお楽しみください。皆様のお出を心よりお待ちしております。

記

日時 ▶ 平成27年11月15日(日) AM8:20 集合(厳守) 8:30 出発
集合場所 ▶ 横浜駅西口天理ビル前
参加費用 ▶ 6,000 円 同窓会より補助後の金額 (バス代・昼食代・入場料(2ヶ所)・保険料含む)
申込方法 ▶ 横浜清風高等学校 事務室 吉田までご連絡ください。

☎ 045-731-4361 受付時間 平日 9:00~16:30 ※ 募集定員 40 名。お早目にお申し込みください。

～ インフォメーション ～

夜間相談会 11/20(金) 17:30~19:00

学校説明会 午前の部 10:00~11:15
午後の部 13:30~14:45

10/24(土) 午前 11/14(土) 午前

11/28(土) 午前 午後 12/12(土) 午前 午後

清風祭のご案内

文化祭：10月10日(土) 9:30~14:30

- ◆ お車での来場はご遠慮願います。
- ◆ 校舎内・外“禁煙”です。ご協力ください。

おしるこの販売しています!



平成 26 年度 横浜清風高等学校同窓会会計報告書

収入の部

H27.3.31 (単位:円)

項 目	予 算 額	収 入 額	備 考
前年度繰越金	14,655,895	14,655,895	
26 年度年会費	440,000	333,000	@ ¥1,000×333 名
26 年度卒業生加入金	1,625,000	1,625,000	@ ¥5,000×324 名
お汁粉売上・祝儀	0	18,350	文化祭お汁粉売上・卒業生より文化祭祝儀
郵送代 補助金	0	450,000	学校より(会報・学校新聞)郵送代一部補助
預 金 利 息	3,000	3,006	定期預金 2,420 円 普通 586 円
合 計	16,723,895	17,085,251	

支出の部

項 目	予 算 額	支 出 額	備 考
行 事 費	200,000	135,886	文化祭お汁粉材料、日帰りバス旅行補助
慶 弔 費	50,000	40,000	卒業式生花代・香典
クラブ援助費	300,000	210,000	写真・陸上・軟式テニス・テニス・女子バスケ
通 信 費	700,000	656,980	会報郵送代 10,833 通
会 議 費	100,000	81,236	幹事会昼食・茶菓・交通費、文化祭交通費 他
名 簿 整 理 費	70,000	63,564	コンピュータ登録・変更・抹消
会 報 費	850,000	850,000	会報印刷・振込用紙・封筒 他
予 備 費	0	25,771	会報費(875,000 円)超過分
小 計	2,270,000	2,063,437	
次年度繰越金	14,453,895	15,021,814	

平成 27 年度 同窓会会計予算書

収入の部

H27.4.1 (単位:円)

項 目	予 算 額	備 考
前年度繰越金	15,021,814	
27 年度年会費	400,000	@ ¥1,000×400 名
27 年度卒業生加入金	1,920,000	@ ¥5,000×384 名
預 金 利 息	3,000	定期預金・普通預金
合 計	17,344,814	

支出の部

項 目	予 算 額	備 考
行 事 費	200,000	同窓会行事補助・文化祭(お汁粉)材料 他
慶 弔 費	50,000	卒業式生花代・香典
クラブ援助費	300,000	各部活援助(関東大会、全国大会)
通 信 費	700,000	会報郵送代
会 議 費	100,000	会議用茶菓代・交通費など
名 簿 整 理 費	80,000	新規会員登録料・データ修正
会 報 費	900,000	会報印刷・封筒・振込用紙 他
事 業 費	900,000	数珠袋 インターネット接続準備
幹 事 総 会 費	200,000	往復はがき、印刷代、茶菓子代など
予 備 費	0	
合 計	3,430,000	

上記の通り報告致します。

平成 27 年 3 月 26 日

台帳と相違ないことを確認致しました。

会計監査員

坂口 優子

28 年度 会費納入のお願い 年会費 1,000 円

芙蓉会会報に同封の振込用紙にて、12 月末日までに納入、又はご来校の際にご持参ください。

第29回	第28回	第27回	第26回	第25回	第24回	第23回	第22回	第21回	第20回	第19回	第18回	第17回	第16回	第15回	第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回	第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回	明倫高等学校	明倫高等学校	
5名	2名	9名	4名	4名	4名	1名	6名	5名	7名	17名	22名	19名	4名	3名	4名	8名	7名	2名	2名	1名	2名	4名	6名	2名	12名	10名	10名	1名	13名		
総計 333名	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回	第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	横浜清風高等学校	第49回	第48回	第47回	第46回	第44回	第43回	第42回	第41回	第39回	第38回	第37回	第36回	第35回	第34回	第33回	第32回	第31回	第30回
	16名	25名	5名	6名	9名	3名	5名	6名	3名	6名	2名	2名		1名	2名	2名	1名	1名	1名	5名	2名	1名	3名	3名	3名	4名	2名	3名	3名	7名	5名

平成二十六年
度
会費納入報告



部活動報告

今年も多くの部活が活躍しています。同窓会では全国大会・関東大会出場の際に部活動に援助金を出し応援しています。

●女子バスケットボール部

初インターハイ出場

一回戦横浜清風 VS 奈良文化(奈良県) 85 対 52

二回戦横浜清風 VS 足羽(福井県) 95 対 92

★延長戦での勝利

三回戦横浜清風 VS 就実(岡山県) 39 対 86

全国ベスト 16

●硬式テニス部

インターハイ出場

●陸上競技部

インターハイ出場

男子バスケットボール部

●ソフトボール部

関東大会出場

●写真部

全国高等学校総合文化祭滋賀

出場 奨励賞受賞

●計 報

旧職員 小寺孝照先生

平成二十七年二月

(享年八十三歳)

昭和三十四年(平成四年)

仏教科講師として勤務。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

会報もいよいよ二十九号となりました。

来年は三〇号と節目の年となります。

皆様が良い記事をお伝えできるように心がけていきます。

ので宜しくお願い致します。

(H・N)